

第35回 マルちゃん杯関東少年柔道大会 要項

1. 目的 柔道の試合を通じて心身を鍛錬するとともに、その技能を磨き、将来を担う関東地区の少年相互の親睦を図り、明るく、正しい、そして、たくましい少年の健全育成を目的とする。
2. 主催 公益財団法人東京都柔道連盟、東洋水産株式会社
3. 主管 公益財団法人東京都柔道連盟
4. 後援 (予定) 公益財団法人全日本柔道連盟、東京都教育委員会、公益財団法人東京都スポーツ協会、関東柔道連合会、東京都中学校体育連盟、サミット株式会社
5. 日時 令和7年6月29日（日）開会式9時30分
受付：7：45（受付場所は、連盟ホームページの本大会ページに大会1週間前を目処に掲載させていただきます。）
開場：監督/選手8：00（予定） 観客：監督選手の入館後
6. 会場 東京武道館 住所：東京都足立区綾瀬3-20-1
電話：03(5697)2111
交通：東京メトロ千代田線 綾瀬駅東口 徒歩5分
7. 参加資格 (1) 全柔連登録しているチーム（道場・クラブ・学校・スポーツ少年団）
（但し、チーム名が異なっても実態が同一である場合は、1チームのみの出場とする。）
(2) 出場チームを通して全柔連登録している選手
試合は小学生の部、中学生男子の部および中学生女子の部の3部制とし、チーム編成は以下の通りとします。
○小学生の部（小学3年生以上）および中学生男子の部～「監督1名+選手5名（最低3名）まで+補欠2名まで」
○中学生女子の部～「監督1名+選手3名（最低2名）まで+補欠1名まで」
(3) 選手本人の出場意思を確認し、健康に十分な配慮を行い、保護者並びに団体の承諾を得てください。
（特に証明書等の提出は求めない）
(4) 出場チームは、指導者が必ず監督として引率してください。
臨時的に他のチームとの間で選手を貸借する等の行為があった場合は、その両チームを失格とし、今後の本大会の出場を認めません。
(5) 監督は、全柔連公認指導者資格を有し2025年度登録が済んでいる者とし、小学生・中学生男子・中学生女子の監督を兼務することは認めません。また、他チームとの兼務も認めません。
兼務が発覚した場合、当該チームは失格とします。
* 監督不在のチームは出場を認めません。
* 学校顧問特例資格の場合は、大会当日、有効な認定証を持参して下さい。
* 資格についての虚偽が判明した場合は、失格または指導者資格の停止も含め厳重に対応します。
8. 審判規定 (1) 最新の国際柔道連盟試合審判規程（2025-2028）および国内における「少年大会特別規程」で行なう。
(2) 試合時間は、各部ともに1回戦～準々決勝戦まで2分とし、準決勝戦・決勝戦は3分とする。
代表戦についても、上記同様に、それぞれ2分および3分とする。
(3) 勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「有効」「僅差」*とし、得点差が無かつ「指導」差が1以内の場合は「引き分け」とする。但し、代表戦の場合は、旗判定で必ず勝敗を決する。
（GSは行わない。）
※「僅差」とは、双方の選手間に技による評価（技あり、有効）がない、または同等の場合、「指導」2あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。
9. 試合方法 (1) 団体試合とし、小学生の部、中学生男子の部および中学生女子の部の3部制とする。
選手の配列は、段・級および学年は自由とするが、負傷・事故防止のため、体重の重い順に大将から配列する。また、欠員が生じる場合は最も軽い位置を欠員とする。
また、小学生の部は男女の混合を認めるが、中学生の部においては男女の混合は認めない。
(2) 試合は、小学生の部及び中学生男子の部は5人制、中学生女子の部は3人制の点取り試合とし、トーナメント戦により実施する。

(3) トーナメント戦の勝敗の決定は次による。

① 勝者数の多いチームを勝ちとする。

② ①で同等の場合は、「一本」（それと同等の勝ちを含む）による勝者数の多いチームを勝ちとする。

③ ②で同等の場合は、「技あり」による勝者数の多いチームを勝ちとする。

④ ③で同等の場合は、「有効」による勝者数の多いチームを勝ちとする。

⑤ ④で同等の場合は、代表戦で勝敗を決する。

・ 出場する選手は、「引分け」となった対戦の中から審判立ち合いのもと抽選で1試合を選出して決定される。

・ 上記以外の場合でも、必要に応じて、抽選により出場選手を決定することがある。

10. 表彰

(1) 上位各8チーム（中学生女子の部は4チーム）までの入賞チームに、東京都柔道連盟および東洋水産株式会社より賞状（第3位まで）および賞品を授与します。

(2) 入賞チームの中から最優秀選手を選考し、各部1名にフレッド・ワダ杯を授与します。

(3) 入賞チームの中から優秀選手を選考し、各部8名（中学生女子の部は3名）に優秀選手賞を授与します。

(4) 出場者全員に、東洋水産株式会社より参加賞を授与します。

11. マルちゃん杯全日本少年柔道大会への出場

小学生の部上位8チーム、中学生男子の部上位12チームおよび中学生女子の部上位4チームは、令和7年9月21日（日）東京武道館で開催される2025年度マルちゃん杯全日本少年柔道大会への出場権を得ます。なお、全日本大会に出場する選手は地区大会と同一メンバーであること。

12. 申込方法

(1) 申込期間 令和7年4月25日（金）～令和7年5月16日（金）23時59分

(2) 申込方法 Excel申込フォーマットに入力しExcelのまま下記あて送信してください。

【お願い】業務効率化のため、申込フォームをPDFにしないでください。

申込先アドレス：moshikomi@tojuren.or.jp

(3) 参加費 無料

★お申込みに際して～前回大会より変更★

1. 組み合わせ抽選は「柔道メンバーID」に基づいて行いますので、ID番号（5から始まる9桁）に誤りがないことをご確認のうえお申込み下さい。（誤りがあった場合、**申込みを無効**としますのでご注意ください。）

2. シード選手選考のためのデータとして前回大会での入賞成績を自己申告（プルダウン方式）願います。（本来はシード権の対象であっても、誤って申告された場合はシード権が得られないことがあります。）

3. 申込期限は**厳格に運用**させていただきますので、時間に余裕を持ってお申込み下さい。

4. 申込書は指定された方法で指定されたアドレスあてにお送り下さい。（指定外のアドレスに送られた場合、**申込みを無効**としますのでご注意ください。）

(4) 申込に関する問い合わせ先 公益財団法人東京都柔道連盟

メール：moshikomi@tojuren.or.jp / TEL：03-3818-5639

(5) 主催者は、宿舍の斡旋は行いません

選手の宿舍および大会当日の昼食は各自でご手配ください。

13. 選手変更

(1) 申込み後の選手変更は原則として認めません。

(2) 以下の場合は、必ず届け出て下さい。提出締切：令和7年6月25日（水）

① 体調不良や負傷等による選手変更または欠場が確定している場合

② 選手の体重の増減により配列に変更がある場合

但し、選手変更は補欠を含めたエントリー選手の中で行って下さい。補欠の補充は認めません。

【変更方法】体重の重い順に再編成し、都柔連ホームページ内の本大会ページに掲載の選手変更・

欠場届に入力し申込先アドレスに送信してください。（moshikomi@tojuren.or.jp）

(3) 試合中の負傷・体調不良により出場できない場合は、救護室で診察を受け発行された「選手変更届」を進行・放送席に提出して下さい。

(4) 負傷等により変更になった選手は、以後の試合に出場出来ません。

14. 組 み 合 せ 令和7年6月4日（水）都柔連事務局において、東京都柔道連盟及び東洋水産株式会社の立会いのもと実施します。

15. 傷 害 保 険 (1) 主催者が参加者全員の傷害保険の加入手続きを行い、その費用を負担します。
(2) 大会当日、参加者は健康保険証を必ず持参して下さい。
(3) 大会中の不慮の負傷・疾病に対して応急処置は施しますが、それ以外の責任は負いません。
※万一の事故の発生に備え、各チーム独自で傷害保険等に加入するなどして万全の事故対策を立てておいて下さい。

16. 柔 道 衣 柔道衣および女子のインナーは白色のみとします。
成長期を考慮し、柔道衣の袖・裾の折込みは5cm・一折りまでの折込み可とします。
また、前合わせについては十分な重なりがあるようにして下さい。
認証柔道衣の使用は義務付けません。ただし、製造者マークについては全柔連の規定を遵守して下さい。

17. ゼ ッ ケ ン

図1. ゼッケンの縫付方

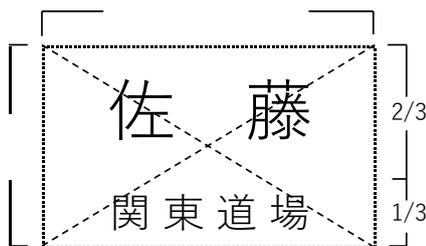
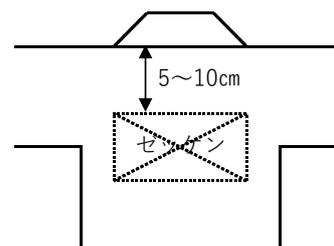


図2. ゼッケンの縫付位置



- (1) 参加選手は、着用する柔道衣に規定のゼッケンを正しく縫い付けて下さい。
- (2) ゼッケンを付けていない選手は出場できません。
- (3) 所属名は『申込み団体名』（省略は可）として下さい。
- (4) チームに2名以上同じ名字（姓）の選手がいる場合は、名前の一字以上を加えて下さい。
- (5) 縫い付けの位置は、後ろ襟から5cm～10cm下部とし、周囲と対角線に強い糸で縫い付けて下さい。
- (6) 名字（姓）は上側2/3、チーム名は下側1/3。
- (7) 布地は白色（晒・太綾）とし、書体は太いゴシック体または明朝体（楷書）で、男子は黒文字、女子は赤文字とする。

※ 出場チーム名と異なるチーム名のゼッケンでは出場を認めません。

18. そ の 他

- (1) 観戦者
 - ・ 消防法による東京武道館の入館者制限に従い、以下の通り観戦者を制限させていただきます。
 - ・ 選手（補欠含む）1名につき観戦者1名の入場を認めますが、チーム受付時にお渡しするリストバンドを必ず付けていただきます。
 - ・ リストバンドを付けた方の膝の上で観戦する幼児はその数に含めません。
 - ※ リストバンドを付けていない方の入場は認めません。
- (2) 監督・コーチの服装
 - ・ 審判員に準じた服装で、ネクタイ・ジャケットは不要です。
 - 男性は、Yシャツ（白を基調とする）・スラックスとして下さい。
 - 女性については、ブラウス（白）も可とします。
 - ・ 違反者は即刻試合会場より退場していただきます。
- (3) 女子選手の髪型
 - ・ 長い髪はしっかりと束ねて、束ねた髪が相手の目に届かぬようにして下さい。
 - ・ 事故防止のため、ヘアアクセサリは禁止とさせていただきます。
- (4) 脳震盪対応
選手および指導者は、下記①～④を遵守して下さい。
①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得る。

②大会中、脳震盪を受傷した者は継続して当該大会に出場することは認めない。

(直ちに専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)

③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得る。

④当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し書面により事故報告書を提出する。

(5) 皮膚真菌症(トンスランス感染症)

チームの責任者は発症の有無を必ず確認し、感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、医療機関において的確な治療を受けさせて下さい。

選手の皮膚真菌症感染が発覚した場合、大会への出場を差し止めることもあることを予めご了承下さい。

(6) 個人情報、肖像権の取り扱い

申込書の提出を以て、下記を了承したものと扱います。

参加申込書に記載された個人情報・競技結果・大会中に撮影された写真または動画等の映像が、大会プログラム・競技会場内外の掲示板等・都柔連ホームページ・都柔連Facebookに掲載される場合があります。また、その他報道機関等により新聞、雑誌、テレビ及び関連ホームページ等に公開される場合があります。大会時に撮影する映像を、審判員および指導者の技能向上のための研修会資料として使用する場合があります。

総合問い合わせ先

公益財団法人東京都柔道連盟

〒 112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館内

TEL : 03-3818-5639 ・ 03-3818-4246

FAX : 03-3818-5644

E-Mail : tojuren@tojuren.or.jp